

## 判例第49/2021/AL号<sup>1</sup>

### 正しくない管轄で発行された行政決定の確定について

2021年11月25日に最高人民裁判所裁判官評議会により採択され、最高人民裁判所長官の2021年12月31日付決定594/QĐ-CAにより公表された。

#### 判例の源:

タイ・ヴァン・NがD省人民委員会委員長を被不服申立人、V教会を関連する権利・義務を有する者とする「土地管理の領域における行政決定の不服申し立て」事件についての最高人民裁判所裁判官評議会の2019年4月2日付監督審決定06/2019/HC-GDT

#### 判例の内容の位置:

「裁判所の認定」部分の第3段落

#### 判例の内容の概要:

##### - 判例の事実:

省級人民委員会委員長は土地紛争を解決する行政決定を発行したが、その土地紛争は土地使用权に関する契約に関連していた。

##### - 法的解決策:

この場合、裁判所は土地使用权に関する契約紛争は裁判所が解決する管轄に属すること、土地紛争を解決する行政決定を発行した人民委員会委員長は管轄に基づいていないことを確定する。

#### 判例に関連する法令の規程:

- 2004年民事訴訟法第25条3項（2015年民事訴訟法第25条3項に相当する）
- 2003年土地法第136条（2013年土地法第203条に相当する）

#### 判例のキーワード:

「行政決定」、「土地紛争」、「土地使用权に関する契約」

#### 事件の内容:

2012年9月24日付訴状及び解決の過程において、タイ・ヴァン・Nは以下のように述べた。V教会（以下、教会）とタイ・ヴァン・Nの家族の間で紛争となっている土地の部分はもと教会のものであった。グエン・ヴァン・Qとグエン・ティ・Sはグエン・フオック・Tの父母である。土地の一部をグエン・ヴァン・Eが1960年に教会に寄贈したのである。教会は幅11mで建設された。1976年、教会は、その土地の横幅16m、国道80号からP川までの長さ（約30m）にNが住宅を建築して、教会の見守りとすることを許し（Nは信徒だから）た。Nは土地の横幅5mに住宅を建築して残りの土地の幅の部分で、バナナとマンゴーを植えた。土地使用中の1986年にNの家族が母屋に隣り合う2つの部屋と一つの台所を増築した。1999年、教会の土地が

---

<sup>1</sup> この判例は最高人民裁判所法制科学管理局が提出した。

崩落したので、教会は土地の反対側の部分（国道80号の反対側）に移動した。教会がかつてあった部分の一部はQ（かつての土地所有者）の子であるグエン・フオック・Tに渡され、一部は建設物資との交換としてMとKの夫妻に交付された。Nの家族が住居として使用する面積（1976年に建設された母屋と1986年に増築された2つの寝室と一つの台所を含む）は、Nの家族が依然として使用している。

2003年1月18日、グエン・クアン・D牧師とV教会信徒委員会の代表者は、Nに横幅10m、国道80号からP川までの長さ30m、総面積300㎡の土地を使用するため交付する「土地交付書」を作成した。

2009年、Nは住宅を堅固なものに修繕し、携帯電話販売店を増築した。教会は同意せず、紛争となった。Nは、2003年1月18日付「土地交付書」に従って、グエン・クアン・D牧師とV教会信徒委員会の代表者が土地を交付したと主張した。2011年9月1日付のP県土地権利登記事務所の地図の引用に従うと、Nの母屋は134.7㎡（横幅5.8m）、携帯電話販売店の面積は102.2㎡（横幅4.4m）である。

教会はD省人民委員会に解決提案書を提出した。

2012年5月14日、D省人民委員会委員長は土地紛争を解決する決定197/QĐ-UBND-NĐを発行し、その内容は以下のとおりである。

“第1条 タイ・ヴァン・Nの以下の区域の面積の土地権利を公認する。

+ 東側はグエン・フオック・Tに隣接し1辺が23.8m

+ 西側は教会に隣接し、1辺が24.3m

+ 南側は国道80号に隣接し、1辺が5.8m

+ 北側はP川に隣接し、1辺が5.4m

- 教会の以下の区域の面積の土地権利を公認する。

+ 東側はタイ・ヴァン・Nに隣接し、1辺が24.3m

+ 西側はフィン・ティ・Mに隣接し、1辺が23.7m

+ 南側は国道80号に隣接し、1辺が4.4m

+ 北側はP側に隣接し、1辺が4.2m

（2011年9月1日に確立したP県土地権利登記事務所の引用地図に添付する）

Nは建造物や植物（もしあれば）を撤去し、教会が上記の土地を使用するため教会に返還しなければならない。”

2012年9月24日、NはD省人民委員会委員長の2012年5月14日付決定197/QĐ-UBND-NĐを破棄する決定を求めて裁判所に申立書を提出した。

- D省人民委員会の意見：もともとの土地はグエン・ヴァン・Qとグエン・ヴァン・Eが1960年に教会に寄贈したもので、その面積は横幅28メートル、縦の長さは国道30号（※仮和訳者

注：原文ママ。正しくは国道80号と推測される）からP川までである。教会は、1969年に横幅8メートルで建設された。1976年、教会は土地の一部、横幅4メートルで縦の長さ国道80号からP川まで、をそこに住宅を建設し、教会を管理するためにNに交付した。Nは住宅を建設した残りの土地に果樹を植えた。1999年、教会の建物の質が落ちたので移転した。土地の一部は前の権利者に交付され、他の部分は新しい教会の建設資材と引き換えにMとKの夫妻に交付された。

2003年1月18日、グエン・クアン・D牧師とV教会信徒委員会代表者は「土地交付書」を作成し、横幅10メートル、縦の長さ国道80号からP川まで、面積300㎡を使用するNに渡した。

2009年、Nは家を修繕して新たな家を建てるのに、より広い横幅10メートルの土地を使ったので、教会と紛争が生じた。教会が不服を申し立てると、D省人民委員会委員長は2012年5月14日付決定197/QĐ-UBND-NĐにより解決して、Nが横幅の1辺が5.8mと5.4m、縦の長さの1辺が23.8mと24.3mの面積を使用できるとして、Nに対して土地の残りの部分について建造物や植物を撤去して教会が使用できるように返還することを命じた。この決定は、2003年にV教会牧師が「土地交付書」を作成してNに渡したという土地使用の過程を検討したものであるが、それはまだ地方政権が確証をしていないので法的価値を有していない。D省人民委員会の決定は根拠があるので、Nの要請を承認しないことを提案する。

- V教会の意見：もともとの教会の土地は、1960年、信徒Qが横幅21m、縦の長さ国道80号からP川までの面積を寄贈したものと、Eが横幅7m、縦の長さ国道80号からP川の間を売ったものである。横幅全ては28m、縦の長さは国道80号からP川である。1961年、横幅11メートルの土地の部分に教会を建設した。1976年、教会は土地の一部分、横幅4m、縦の長さ国道80号から川の端までを、住宅を建設して教会を管理し、残りの部分に果樹（マンゴー、バナナ）を植栽するために、Nの家族（信徒である）に交付した。1986年、Nの家族は2つの部屋と1つの台所を増築した。

1999年、教会の土地は崩落したので、教会は人民委員会の許可を得て再建築するために反対側の土地に移転した。教会の古い土地は、一部をT、Q（かつての土地権利者）の子供、に再度交付して、一部を教会建設資材との交換としてMとKの夫妻に交付した。

2003年1月18日、教会の牧師であるグエン・ヴァン・DとV教会信徒委員会は、横幅10メートル、縦の長さ国道80号から川の端までの土地をNの家族に交付した。両当事者はその目的が教会建設資材との交換であることを合意したが、Nの家族は履行しなかったため教会はNに対する土地交付書の確認のために人民委員会に申し立てた。

2009年、Nは堅牢な家を建設し、携帯電話販売店も追加して建設した。教会はそれに同意しないので、紛争が発生した。教会は、同意しているのは4mの横幅の部分のだけで、1.2mの横幅については教会と値段に合意しなければならず、横幅4.4m、縦の長さ国道80号からP川までは教会に返還しなければならないと主張した。

教会は、省人民委員会委員長の2012年5月14日付決定197/QĐ-UBND-NĐに従って、Nの要請を排斥することを裁判所に提案した。

2014年6月27日の第一審行政事件判決02/2014/HC-STにおいて、ドン・タップ省人民裁判所は以下のように決定した。

タイ・ヴァン・Nの、D省人民委員会委員長の2012年5月14日付決定197/QĐ-UBND-NĐを破棄する要請を排斥する。

第一審裁判所は費用についても決定した。

2014年7月10日、Nは第一審行政判決の全部につき控訴した。

2014年7月11日の異議申し立て決定89/QĐKNPT-P5において、ドン・タップ省人民検察院院長はドン・タップ省人民裁判所の2014年6月27日第一審行政事件判決02/2014/HC-STに異議申し立てをして、控訴審裁判所は第一審判決を修正する方向に従って審理して、D省人民委員会委員長の2012年5月14日付決定197/QĐ-UBND-NĐを破棄することを提案した。

2015年9月9日の控訴行政判決65/2015/HC-PTにおいて、ホーチミン市高級裁判所は以下のよう  
に決定した。

ドン・タップ省人民検察院院長の2014年7月11日の異議申し立て決定89/QĐKNPT-P5  
について、控訴審の審理を停止する。

タイ・B（原告の委任を受けた代理人）の控訴要請を承認しない。ドン・タップ省人  
民裁判所の2014年6月27日第一審行政事件判決02/2014/HC-STを維持する。

1993年土地法第31条及び土地所有権の移転、譲渡、賃貸、転貸、相続及び土地所有権  
による出資に関する議定17/1999/NĐ-CPを適用して宣言する。

D省人民委員会委員長の2012年5月14日付決定197/QĐ-UBND-NĐを破棄することを求めるタ  
イ・ヴァン・Nの申し立てを承認しない。

控訴審判決は費用について決定した。

2015年11月17日、Nは、2015年9月9日のホーチミン高級裁判所の控訴行政判決65/2015/HC-  
PTに対して監督審手続に従った審理を提案した。

2018年2月1日、同5月9日、D省人民委員会は公文32/UBND-NC、232/UBND-N及び  
349/UBND-NCにおいて、同9月9日のホーチミン高級裁判所の控訴行政判決65/2015/HC-PTに  
対して監督審手続に従った審理を検討することを提案した。

2018年11月9日、最高人民裁判所長官は監督審異議申し立て決定25/2018/KN-HCにおい  
て、2015年9月9日のホーチミン高級裁判所の控訴行政判決65/2015/HC-PTに対して監督審手続に  
従った異議申し立てをして、最高人民裁判所裁判官評議会が2015年9月9日のホーチミン高級裁  
判所の控訴行政判決65/2015/HC-PT及びドン・タップ省人民裁判所の2014年6月27日第一審行政事  
件判決02/2014/HC-STを破棄する方向で監督審の審理をすること、法令の規定に正しく従って再度  
の第一審解決をするために事件書類をドン・タップ省人民裁判所に交付することを提案した。

監督審の審理期日において、最高人民検察院の代表は最高人民裁判所裁判官評議会が最高  
人民裁判所長官の異議申し立てを承認するように提案した。

#### 裁判所の認定:

[1] 紛争解決の管轄について:

[2] タイ・ヴァン・Nの家族が使用している土地の部分は202.2㎡であり（土地上に携帯電話販売店がある）、ドン・タップ省P県V地区8aの42番の土地に属しており、もともとは教会に寄贈された土地である。1976年、教会はNの家族に土地の一部、横幅4m、縦の長さ国道80号から川の端まで、に家を建築して教会を管理させた。2003年1月18日、グエン・クアン・D牧師と教会信徒委員会は、横幅10m、縦の長さ国道80号からP川までの30m、面積300㎡を使用するNに「土地交付書」を作成して交付した。

[3] 2009年、Nは堅牢な家を建設し、携帯電話販売店も追加して建設した。教会はそれに同意しないので、紛争が発生した。Nはグエン・クアン・DとV教会信徒委員会が2003年1月18日に作成した「土地交付書」に従って土地を交付したと主張した。V教会の代表はNが述べる交付書類を認めたが、Nは新たな教会建設のための資材の引き渡しをしないので、教会はNに交付した土地交付書を確認するため社級人民委員会に提出していないと主張した。これにより、両当事者の紛争はV教会とNとの間の贈与契約に関連を有するので、2004年民事訴訟法第25条3項、2015年民事訴訟法第26条3項の規定に従って、解決につき裁判所の管轄に属する。D省人民委員会委員長が2012年5月14日付決定197/QĐ-UBND-NĐを発行してV教会とNの間の土地使用権紛争を解決したことは、正しい管轄ではない。

[4] 内容について：

[5] Nの土地使用の起源及び過程：従前、V教会の土地の部分はもともと寄贈を受けたものである。1976年、V教会は教会を建設した部分以外の土地の一部をNに交付し、Nは教会から交付を受けた土地の一部（現状で134.7㎡）上に家を建て、残りの土地の部分（現状で102.2㎡）でNはマンゴーとバナナを植栽し、これらはD省人民委員会と教会により確認されている。

[6] このように、Nの家族は教会により交付を受けた土地を1976年から2009年まで連続的に使用していた（その過程で国家に税金を納めている）。しかし、税金納付領収書には、面積、土地使用過程が確定されておらず、Nは土地使用権登記をしていない。

[7] 1999年、V教会が他の土地に移転したので、教会の建物があった部分の土地の一部を旧権利者であるグエン・フック・Tに再度交付し、他の一部を教会の建設資材提供との交換として、フィン・ティ・マイ・Hとダン・ヴァン・Kの夫妻に交付した。各家族間に土地使用権に関連する紛争はなかった。

[8] 2003年1月18日、V教会牧師と信徒委員会代表は「土地交付書」を作成してNに交付した。その内容は「この書類は、V地区の集落BにあるV教会の古い土地交付の証拠として作成される。国道80号から川の端（運河P）までの距離で計算される。縦の長さ: 30m、お横幅: 10m。総面積は300㎡。理由: この土地は教会のものです。タイ・ヴァン・Nとフィン・ティ・マイ・Hの家族は、教会から許可を受けて建設した。教会がこの使用していない土地を使用する完全な権利をN夫妻に交付する」である。

[9] 上記の土地交付書類の内容は土地使用権移転契約書ではなく、その実質は、TとKと同様に、Nが土地使用権登記をする根拠としての、V教会がNに使用権を行使した事実を確認するものである（土地贈与契約と同様である）。実際には、教会がNに土地を交付した時、Nはその土地を使用していた。教会は1999年からその土地を使用していなかった。土地

交付書が作成されてから、この土地交付につき教会は何も意見を言っていない。同時に、第一審の審理にて、教会の代表者は以下を確認している。「B牧師が財産交付に関して確認したが、多くの土地受領書がない。」

[10] このように、Nが1976年から今まで連続的に使用する係争地の面性の部分につき、教会は連続的に使用せず、Nの家族が使用する必要があった。

[11] Đ省人民委員会は2012年5月14日付決定197/QĐ-UBND-NĐを発行し、Nに建造物と植物（もしあれば）を撤去し、教会に土地102.2㎡を返還せよと命じたことは正しくない。

[12] 第一審裁判所と控訴審裁判所はNが家を建築した土地の面積と、Nが134.7㎡の土地使用権を得たことは事件の客観的な事情に照らして正しくないと主張する教会代表者の陳述だけに基づいている。同時に、Nの申立を破棄するための教会の土地交付書類は確認の管轄がない機関のもので、法的価値を有さないの根拠がない。

[13] Đ省人民委員会委員長の2012年5月14日付決定197/QĐ-UBND-NĐが土地紛争を解決することにつき管轄がないので、事件解決の道筋は法令に合致していない。

上述を踏まえて、

#### 決定:

行政訴訟法第271条1項、同第272条3項、第274条2項に基き:

1. 2015年9月9日のホーチミン高級裁判所の控訴行政判決65/2015/HC-PT に対する、2018年11月9日の最高人民裁判所長官の監督審異議申し立て決定25/2018/KN-HCを承認する。
2. 2015年9月9日のホーチミン高級裁判所の控訴行政判決65/2015/HC-PTを破棄する。
3. 法令の規定に正しく従って控訴審の審理を再度行うホーチミン市高級人民裁判所に事件記録を交付する。

#### 判例の内容

“[3]... Nはグエン・クアン・DとV教会信徒委員会が2003年1月18日に作成した「土地交付書」に従って土地を交付したと主張した。V教会の代表はNが述べる交付書類を認めたが、Nは新たな教会建設のための資材の引き渡しをしないので、教会はNに交付した土地交付書を確認するため社級人民委員会に提出していないと主張した。これにより、両当事者の紛争はV教会とNとの間の贈与契約に関連を有するので、2004年民事訴訟法第25条3項、2015年民事訴訟法第26条3項の規定に従って、解決につき裁判所の管轄に属する。Đ省人民委員会委員長が2012年5月14日付決定197/QĐ-UBND-NĐを発行してV教会とNの間の土地使用権紛争を解決したことは、正しい管轄ではない。”